

BUILDING MAINTENANCE NEWS

VOL.296

12月号
2013年

愛知

一般社団法人
愛知ビルメンテナンス協会
愛知BMA

発行・編集 一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報委員会 / E-mail aichibm@iilac.ocn.ne.jp URL(アドレス)http://www.aichi-bma.jp
〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階 TEL 052-265-7536 FAX 052-265-7537

今月の視点

ビルメンヒューマンフェア '13に参加して

経営・ビジョン委員長 山口 義浩

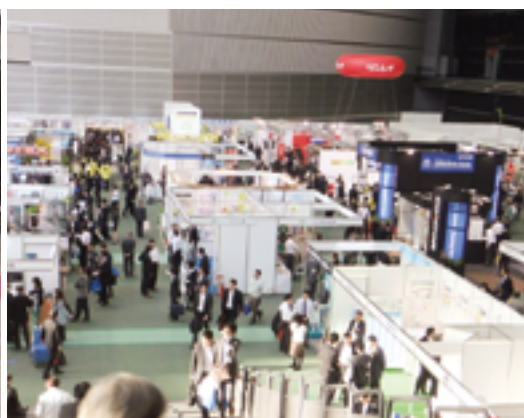
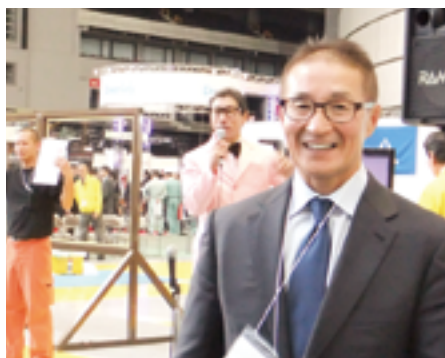
10月30日(水)・31日(木)に「さいたまスーパーアリーナ」で開催された“ビルメンヒューマンフェア13”に参加いたしました。

平成3年に、ビルメンテナンス業のイメージアップを主目的としてスタートしたこの事業も回を重ねるたびに、盛大な事業になり以前名古屋での開催時とはスケールの違いを感じました。今回の開催場所は東京都心から至近距離であり、二万人以上の来場者があったとお聞きしております。

私は9時の新幹線で名古屋を出発し、会場にはお昼頃に入場できました。会場内はとても明るい雰囲気、想像を超えた来場者に驚きました。今回の新たなプランとして「エグゼクティブプラン」に登録することで、特別セミナーと特別展示会、そして懇親会(パーティ)に参加できるので、事前登録をしました。場内の清掃資機材メーカー様のブースは60社を超える出店で、どこも色とりどりの雰囲気、美人のコンパニオンさんも熱心に商品説明をして見えました。

初日のイベントの目玉は何と言っても普段の現場でのスキルを競い合う「全国ビルクリーニング技能競技会」「日本ガラスクリーニング選手権」とともに真剣な無駄の無い作業動作と最高レベルの技術に感動しました。エグゼクティブ特別セミナー①はテレビでもおなじみの「岸 博幸」氏の講演がありましたが、他事業や講演とバッティングし、すべてエントリーできま

せませんでした。そして18:30~20:00ステージにて「エグゼクティブ会」では、ご当地・埼玉が誇る迫力の和太鼓「秩父屋囃子」を聞きながら、愛知ビルメンから参加した多くの仲間たちと美味しいお料理とお酒を召し上がりながら、ビジネスや趣味のお話に花を咲かせ大変盛り上がりました。



ベストインスペクター賞 大賞受賞の喜び 株式会社セイコー 高橋 和雅

この度、ビルメンヒューマンフェア'13にて「第4回ベストインスペクター賞」大賞を受賞することが出来ましたこと、大変嬉しく思っています。

そして、インスペクション建築物にご協力頂きました医療法人メディライフ 知多リハビリテーション病院のご担当者様、ご関係者の方々に感謝申し上げます。

振り返りますと、私は平成18年度に建築物清掃管理評価資格者2級(作業品質)を資格取得に向けて申請した後、翌年に行われましたビルメンヒューマンフェア'07での第1回ベストインスペクター賞発表を拝見させて頂いたのが始まりであります。また、今日に至るまで日々の業務を行いながら、業務管理担当物件だけではなく、担当物件以外のインスペクションを行ってきたこと、そして評価や改善、またはお客様への提案等を行い、インスペクターとしての経験を高めてくれたことが今回の結果に繋がった要因と思います。

例えば日常清掃の仕様内での改善指摘箇所はただ指示を出すだけではなく、原因をつかむため日常クルーに確認を行うなどを行い、品質の回復に努めてまいりました。つまり日常クルーの協力が絶対に必要になります。

そして、お客様のご協力とご理解をいただくことが大変重要であります。改善に対するご理解を持って頂けなければ、インスペクションを実施しても単なる点検で終わってしまうからであります。

私が考えるインスペクションの在り方として、応急処置だけではなく、根本的に改善を行うことでもあります。

現在、ご委託を頂いておりますお客様との清掃仕様の中で品質が低いからと、仕様増による売上増や特別清掃の実施のみを行うのではなく、適正な仕様を考えて、必要以上に高い品質の箇所は仕様減等も視野に入れて見直しを検討して、可能な限り現在のご契約金額の中で仕様外の箇所を日常清掃、定期清掃の業務拡大することで、建築物内外すべての美観維持、建築物の保全貢献するためにインスペクションを行っています。

これからは、昨今、品質を無視した低価格だけの競争が行われている時代の中で、インスペクション制度が広く周知され、ビルメンテナンス業界のみならず、建築物の所有者様方々に必要性をご理解頂けますように微力ながらも貢献することを決意いたしております。

最後に、様々な場面でご協力、応援して頂いた全ての関係者の方々に感謝を申し上げます。本当に有難う御座いました。



第34回全国障害者技能競技大会に 参加して感じたこと

新生ビルテクノ株式会社 曾我裕司

去る平成25年11月23日の土曜日、千葉市美浜区中瀬の「幕張メッセ」にて「第34回全国障害者技能競技大会」が盛大に開催されました。

今年も障害者の雇用の促進及び継続に資すると想定され、かつ啓発効果の高い職種(種目)24種目を競技種目とし、地方大会を勝ち抜いた300人以上の選手達が熱戦を繰り広げました。

私が参加したのはその中のビルクリーニングの部門。正式種目に取り入れられてまだ4回目と聞いておりましたが同行して頂いたコニックス株式会社の松田高明さんに伺ったところ、最初の大会では参加選手は10名、それが昨年の長野大会では31名であったことを知りました。

そして今年なんと36名の出場となりました。競技内容は課題1の「カーペット床清掃」と課題2の「弾性床材の清掃と机上清掃」の2課題。他の競技が比較的机上での競技に対してビルクリーニングの競技は選手達が模擬オフィスに見立てたコート内をいっばいに動いて演技をする。やはり見ているだけでも迫力のある演技だけにギャラリーの多さに圧倒されました。

私はコートの脇に控えて一人一人の演技が終わるとすぐに掃



除機のコードの巻き直し、またカート内の使用資材のセッティングなどの選手も同じ条件で演技できるよう気を配りました。前日の選手達へのオリエンテーションでは、本番に備えて最終調整を行う時間もありましたが選手全員が熱心に練習するあまり午後5時半過ぎまで行われ、こちらから選手達にお願いし切り上げるほどでした。

そしていよいよ本番。さすがに各県の代表選手だけあってどの選手も完璧でしたが特に共通して感じたことはどの選手も動きにムダがないこと。そして入退室時の挨拶の元気の良さでした。普段マンネリ化してしまっている私共の清掃現場では彼らの演技は改めて考えさせられるものがありました。

そして無事に全員が演技を終了する頃には既に時計の針は午後5時に差し掛かろうとしていました。終了後のオリエンテーションでは最初は緊張していた選手達も全員がまさに日頃の練習の成果を出しきった、そんな満足そうな笑顔に変わっていたのが非常に印象的でした。彼らがこの仕事に誇りを持って競技に挑んでいることが私にとって何よりも嬉しい1日でした。残念ながら私は閉会式まで同行できず競技結果を聞くことなく会場をあとにしましたが、愛知県代表として出場した「管財株式会社」の加藤貴啓くんもそれぞれの作業を正確に行い、見事な演技を披露してくれました。

そしてあとから協会へ確認しましたところ見事「銅賞」に輝いた

とのことでした。

来年はいよいよ愛知県での開催、ぜひ全国47都道府県からの参加で今回の千葉大会同様に盛り上がることを期待しております。最後に改めて「管財株式会社」の加藤貴啓くん、本当におめでとうございます。

また全協及び千葉協会を始めお世話になった方々、本当にありがとうございました。



清掃作業従事者研修(中級)

平成25年11月7日(木)名古屋港湾会館で清掃作業従事者研修が行われました。この研修は中級者(3年以上の経験者)を対象に、①建築物衛生法②清掃用具機械・器具・資材の使用法③廃棄物・洗剤等廃液処理④作業従事者の心得⑤作業の安全と衛生⑥最新の情報として今冬の感染症流行を内容に実施されました。講師の熱心な講義もあり、受講生は集中して受講していました。

受講生が25人と毎年減少傾向にあります。社内教育が充実してきたことに伴う現象であれば良いのですが、受講者の減少傾向を踏まえ、来年度以降の研修の在り方について担当の建物清掃委員会で検討することになっています。



貯水槽清掃作業従事者研修



平成25年11月12日(火)愛知県産業労働センターにおいて、貯水槽清掃作業従事者研修が開催されました。

研修では、「建築物衛生法等関係法令」、「貯水槽の清掃、消毒及び塗装方法」、「作業の安全衛生」、「給水設備と機械」について7時間、4人の講師により実例を交えた分かり易い内容の講義が行われ、充実した研修会となりました。

長時間の講義でしたが、参加した91名全員が最後まで受講し、修了証書が交付されました。なお、厚生労働省からの指導もあり、来年度以降は、新規従事者と経験者にわけて研修を行うことになっています。

理事会・各種委員会等

◆第4回理事会

開催日時 平成25年11月15日(金)13時30分～

開催場所 協会事務局会議室

出席者 加藤会長始め14名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項

・忘年懇親会の計画概要について

・当面の諸問題について

愛知県への要望について

・委員会報告／全協報告／事務局報告

◆第4回広報委員会

開催日時 平成25年11月26日(火)10時00分～

開催場所 協会事務局会議室

ビルメニュー12月号の構成について協議した。

◆第1回建物清掃管理委員会

開催日時 平成25年11月5日(火)13時30分～

開催場所 宝第一ビル

平成25年度事業計画及び今後の委員会活動について協議した。

◆第1回総務厚生委員会

開催日時 平成25年11月8日(金)13時30分～

開催場所 協会事務局会議室

忘年懇親会、BMソフトボール大会及び新会員加入の促進等について協議した。

会員の動き

12月1日現在会員数

普通会員 121社 賛助会員 21社

普通会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
25.10	(株)愛清社	代表者・登録者	新代表取締役社長 坪井充彦 旧代表取締役社長 平川雅裕

賛助会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
25.11	サラヤ(株) 名古屋営業所	代表者	新名古屋営業所長 青木康司 旧名古屋営業所長 穴見 新

栄地区一斉清掃中止について

平成25年11月15日(金)に予定いたしました一斉清掃は、雨天のためやむなく中止をいたしました。

準備をされておられた皆様方には誠に申し訳ございませんでした。

来年度も実施を予定いたしておりますので、参加いただきますようお願いいたします。

本多理事(全国協会副会長) 旭日小綬章を受章

平成25年秋の叙勲において、全国協会副会長、当協会本多清治理事(中日コプロ株式会社代表取締役会長)が建築物環境衛生における永年の功績により、旭日小綬章を受章されました。

平成25年11月8日(金)厚生労働大臣より旭日小綬章を受章された後、皇居に赴き豊明殿において天皇陛下に拝謁されました。

本多理事は平成13年に藍綬褒章を受章されており、重なる祝賀となります。

本当におめでとうございます。



全国協会からのお知らせ

—平成25年度秋の叙勲・褒章—

平成25年秋の叙勲・褒章で、斯業界から次の方々が受章されましたのでお知らせします。

- 旭日小綬章
本多清治様(全国協会副会長)
中日コプロ株式会社
代表取締役会長
- 藍綬褒章
鴻 義久様(全国協会副会長)
株式会社ハリマビシステム
代表取締役社長
- 旭日小綬章
森田重治様(岐阜県協会会長)
株式会社美装モリタ商会
代表取締役
- 藍綬褒章
木下雅俊様(福井県協会元会長)
株式会社法美社
代表取締役社長
- 瑞宝単光章
森田美徳(三重県協会事務局長)
タカノ商事株式会社
代表取締役専務

おめでとうございます。

平成26年1月の予定

睦月

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	水	元日	16	木	ビルクリーニング技能検定試験(名古屋会場—鳴海トレセン)
2	木	年始休業	17	金	
3	金		18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	ビルクリーニング技能検定試験(名古屋会場—鳴海トレセン)
6	月		21	火	
7	火		22	水	
8	水	ビルクリーニング技能検定試験(金沢会場)	23	木	
9	木		24	金	
10	金		25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	ビルクリーニング技能検定試験(名古屋会場—鳴海トレセン)
13	月	成人の日	28	火	
14	火	研究会幹事会(県庁)	29	水	労働安全衛生大会(国際会議場)
15	水	ビルクリーニング技能検定試験(名古屋会場—鳴海トレセン)	30	木	
			31	金	

賛助会コーナー

プロテック スレンダーラーフ
プロテック スレンダーラーフN(フレンジ無し)

埃保持力大幅UP!!



プロテックス スレンダーラーフ



プロテック スレンダーラーフN(フレンジ無し)

特徴

- フレンジ糸が埃をしっかり保持
・外周部のフレンジ糸が埃をしっかり保持するので、広範囲の清掃が可能です。(Fタイプ)
- 超極細繊維が細部のチリや汚れをキャッチし、動きもスムーズ。
・マイクロファイバーの超極細繊維が細部の汚れをかき取ります。
・拭き取り面にかための繊維を入れることでスムーズな動きを実現。
- マジックファスナー採用で作業中でも外れにくく、着脱も簡単です。
- 手絞りもでき、洗濯機で脱水すれば湿り拭きにも使用できます。

お問い合わせは 山崎産業株式会社第二名古屋営業所まで
TEL:052-481-8551 FAX:052-486-2331

事務局だより

師走となり、いよいよ今年も残りわずかとなりました。

今年一年、会員の皆様方には、ご支援、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

今年には役員さんの大幅な交代もあり、委員会の運営にも今後の活発な活動を予感させる新たな動きも見られ、又、来年6月4日の50周年記念事業に向けての準備作業等もあって事務局も多忙な一年でありました。

年が明けますと、50周年事業も待たなしとなり、更に慌ただしくなることと存じますが、会員の皆様とともに50年を祝賀し、これからの協会活動の更なる発展に向けての出発点として記念式典を成功裡に終えるべく、事務局も精一杯努力するつもりでありますので、皆様方の更なるご支援を何卒よろしく申し上げます。

最後に、慌ただしい年の瀬ではありますが、会員の皆様方にはどうぞご健勝にてお暮しいただきますように、そして健やかに新しき年を迎えられますよう心よりご祈念申し上げます。